

2020年3月
学医 南 貴博
(担当部署：学生課保健管理室)

科目等履修生及び聴講生の皆様へ

結核予防対策のための胸部レントゲン検査の受診について（お願い）

本学では、結核の早期発見及び集団感染防止のため、学部の学生に対しては、学校保健安全法に基づいて、毎年、定期健康診断を実施し、胸部レントゲン検査を義務づけています。

近年、全国の学校において、結核の集団感染が問題になっており、福岡県でも2016年の1年間で、新たに36名の学生が結核を発症しています。このため、本学においても以前より学内の結核対策に取り組んでおります。

つきましては、科目等履修生及び聴講生の皆様におかれましても、ご自身の健康管理のため、また、キャンパス内の結核の集団感染防止のため、下記の事項を確認し、ご協力くださいますようお願いいたします。

記

1. 早期の結核は症状がないことが多く、胸部レントゲン検査でしかわかりません。
新学期のなるべく早い時期に、各自、胸部レントゲン検査を受検し、異常の有無を確認するようにお願いします。
2. 結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳や痰が2週間以上続いた場合は、必ず医療機関で診察を受けることをお勧めします。結核は、早期に発見し、早期に抗結核薬を内服することにより、短期間に治すことが可能です。また、集団感染を防ぐことにつながります。
* 結核とその症状、予防方法に関する情報は、以下をご参照ください。
(公財) 結核予防会結核研究所 <http://www.jata.or.jp/> → 「結核とは」
3. この件についてのお問い合わせは、下記をお願いします。
* 学生課 保健管理室：TEL 092-823-3316

以上